



宇美中学校
学校通信第8号

くすのき

もり

楠の杜

令和7年11月5日発行

校長 河野 徹

(文責：教頭 梶原 博文)

様々な個性があふれ、盛り上がりました

～文化週間・文化発表会の実施～

10月17日(金)に、文化発表会を実施しました。本年度のスローガンは「結～個性で彩れ絆のキャンパス～」でした。各学年のリハーサルでは、課題も多く見られましたが、本番ではどの学級もこれまでの練習の成果を発揮して、素晴らしい歌声を体育館いっぱいに響かせました。結果は出ましたが、互いの頑張りがよい刺激となり、それぞれの学級の個性で彩られた合唱コンクールとなりました。合唱は体育会の取組と同様に、とてもやりがいがあるし、その分難しくも感じます。



【合唱(右上) 特技発表(上) 学習発表(右) 吹奏楽演奏(右下)】

【合唱コンクールの結果】 (1学年)金賞2組・銀賞3組

(2学年)金賞2組・銀賞1組 (3学年)金賞4組・銀賞3組

(最優秀伴奏者賞) 1年3組 富田 結月 さん

2年2組 山崎 くるみ さん

3年3組 平野 穂花 さん

(最優秀指揮者賞) 1年4組 植松 朗真 さん

2年2組 伊藤 魁星 さん

3年4組 相良 美桜 さん



なぜなら、合唱が歌声の強弱や音程と共に、「その学級がどのような学級であるか」を表現するからです。私は音楽的な細かいことはわかりませんが、合唱を聴いて「この学級は〇〇な学級なのだろうなあ」ということは伝わってきます。日常の学校生活において、男女が仲良く協力する学級、何事にも元気よく取り組む学級、何事にも地道に粘り強く取り組む学級など様々でした。合唱を通して、自分たちの学級がこんなよいところがあってこのようなことを頑張っていますということが表現できたならば、合唱後の達成感や満足感、この学級でよかったという所属感をしっかりと味わえたのではないかと思います。

また、宮内彩さん(主張文)、仲村心来さん(英語スピーチ)の学習発表や2組の特技発表のダンス、そして吹奏楽部の演奏も会場を盛り上げました。最後には、職員バンドの歌・演奏・ダンスで会場の盛り上がりは最高潮に達しました。宇美中学校のこれまでの歴史や伝統のキャンパスに、また新たな宇美中学校の個性が描かれた一日でした。ここでつくられた学級内・学年内・学校内でのつながり(結)を、2学期の残りの学校生活でしっかりと発揮して、授業や学校生活をさらに高めてほしいと思います。

また、文化発表会に向けてのPTA花植えボランティアへのご協力もありがとうございました。環境委員と保護者の皆様のご協力で、生徒昇降口と体育館前に色とりどりの花があふれ、素晴らしい環境の中、合唱コンクールを実施できました。

【花植えの様子と出来上がった花壇の様子(右)】



様々な研究授業で授業参観がありました 毎日の授業を大切に

～小中連携授業改善研修会・若年教員2年目授業研・糟屋区教科等研保健体育授業研～

10月は宇美中学校で宇美町や糟屋区、福岡教育事務所が主催する研究授業が実施され、他校の先生方が授業を参観されました。

まずは、10/9（木）に、宇美中学校区の小中連携授業改善研修会で宇美小学校と井野小学校の先生方が2－4英語科大山舜平先生の授業を参観されました。ALTのオンヤ先生のお姉さんに日本のことを教えるリーフレットづくりを通して、「have to～must」の使い分けができるようになるという授業でした。席を付けて親和的な雰囲気の中で、生徒が一生懸命学習に取り組む姿を多くの先生が褒められていました。ICTを活用した家庭学習の取組や授業における対話活動、学習内容の定着を確認する課題の提示が有効であったと福岡教育事務所の指導主事からご指導いただきました。

10/23（木）には、若年教員2年目代表授業研で、新宮町・志免町・宇美町の先生方が畑中宏志先生の3－3学活の授業を参観されました。入試前・卒業前にもう一度中学校での学習について見つめ直そうという内容で、授業の2分前学習についての学級会を開きました。何かをやらされるのではなく、自分たちで考え、どのような意味をもたせて、どのような気持ちで取り組むのかを学級全員で話し合いました。間近にテストが迫っている状況での話し合いでしたので、皆真剣に対話活動を行い、多くの意見を出しました。ここで話し合った内容が日常の授業に生かされることを期待します。

10/27（月）には、糟屋区の保健体育の先生方が1－4保健体育科宮田先生の授業を参観されました。バスケットボールの授業で、パスカットされずにゴール下までボール運ぶためにはどうすればよいかをゲームを通して探りました。作戦ボードやiPadなどを活用して自分たちの動きを映像で確認しながら対話活動を行い、作戦を立て、空間の使い方やパスの出し方・受け方を工夫しました。この授業でも、生徒が意欲的にゲームに取り組む姿やチームの仲間としっかり話し合う姿が見られました。

多くの他校の先生方から授業を参観していただき、宇美中生の頑張る姿やよさをたくさん褒めていただきました。しかし、日常の授業を見ると、授業規律や集中力に課題も見られます。現在、宇美中学校の授業では、ICT機器を活用した学び方、対話活動で考えを広げることが大切にしています。授業は先生や一部の生徒でつくるものではなく、学級全員でつくるものです。先生たちも、少しでも分かりやすく興味をもって学ぶことができるように、研修等を行っています。また、学力分析テストや期末考査に向けて、各学年で放課後に補充学習も行われており、多くの生徒が参加しています。宇美中生全員で、毎日の授業を大切にしていきましょう。そして、希望の進路ややりたい自分に少しでも近づいていましょう。

糟屋区新人大会での宇美中生の頑張りに感動 次は冬トレです

10月に糟屋区新人大会が行われました。結果はすでに安心・安全メールでお伝えしましたが、どの部も一生懸命試合に臨み、女子バスケットボール部、剣道部（男子団体）、柔道が見事優勝、男子ソフトテニス部も筑前地区大会出場を果たしました。筑前地区大会の結果は次号でお伝えします。世間では、ソフトバンクの日本一やドジャースのワールドシリーズ2連覇などで盛り上がり、選手の勝負にかける熱い想いやチームのために体を張ったプレーに感動しました。それは、皆さんの新人大会でも同じでした。全力を尽くしてチームのためにプレーする姿に多くの感動をもらいました。本当にありがとうございます。勝ったチームはさらに上をめざし、負けたチームはその悔しさを忘れず、仲間ときつい冬のトレーニングに励もう。



【それぞれの研究授業（上：2－4英語・中：3－3学活・下：1－4保健体育）の様子】